

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2003-287200 (P2003-287200A)

【公開日】平成 15 年 10 月 10 日 (2003.10.10)

【出願番号】特願 2002-89157 (P2002-89157)

【国際特許分類第 7 版】

F 1 7 D 1/08

// C 0 7 C 69/54

【F I】

F 1 7 D 1/08

C 0 7 C 69/54 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管端部に連結部が備えられた複数の配管部材が、その連結部で直列に連結され、易重合性物質を含む流体を移送する 10 m 以上の易重合性物質用配管設備において、連結部の平均間隔が 1 ~ 8 m とされていることを特徴とする易重合性物質用配管設備。

【請求項 2】

前記配管部材として曲がり管が用いられた場合、この曲がり管は、曲がりの頂点から 2 m 以内の位置に連結部が備えられたものであることを特徴とする請求項 1 に記載の易重合性物質用配管設備。

【請求項 3】

前記配管部材として少なくとも 2 本の直管が用いられ、これらの直管が連結された場合、これら連結された直管の傾斜が $1/300 \sim 1/10$ とされていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の易重合性物質用配管設備。

【請求項 4】

配管の内部に易重合性物質を含む流体を通じて易重合性物質を移送する方法において、前記配管として請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の易重合性物質用配管設備を用いることを特徴とする方法。